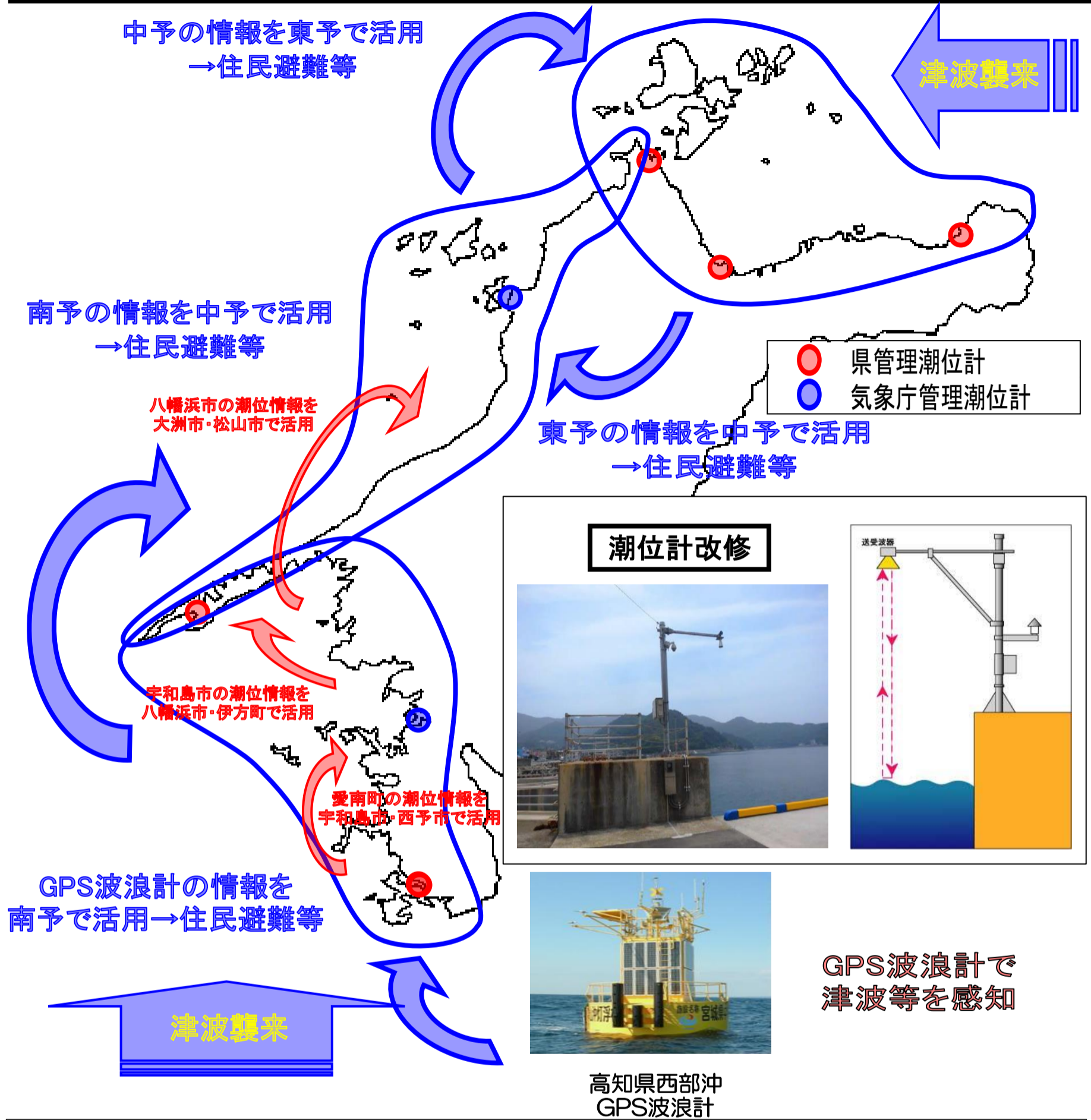


愛媛県潮位情報提供システムの防災情報としての活用例



①津波発生時等の活用例

津波等の到達は地域によってタイムラグがあること、一般的に、沖合で観測される津波高よりも、沿岸に到達する津波高の方が高くなる傾向があることから、事前に近隣の港内で観測された潮位情報をシステムにより収集・把握することで防災情報として役立てることが可能となる。

②夜間における活用例

夜間の高潮発生時等には、パトロール等による潮位の確認が困難なため、システムの潮位グラフ等の情報が防災情報として非常に有効となる。

例えば、観測した潮位と海岸の天端高を比較することにより、高潮による浸水の発生状況を把握することが可能となる。